

参加費
無料

令和7年度(2025年度)

豊中市 学校支援

コーディネーター研修

この研修は、地域と学校の「橋渡し」役として活躍が期待される、学校支援コーディネーターのスキルアップを図るとともに、社会教育関係者や学校教職員などに学校支援コーディネーターの活動及び地域学校協働活動の目的や効果についての理解を深めることを目的としています。

<日時>：12月20日(土) 14時30分～16時30分 (14時00分受付開始)

<場所>：豊中市立地域共生センター西館(まるぷらっと西館) 3階 大会議室
(豊中市中桜塚2-28-8 阪急岡町駅東出口から東へ約300m ※裏面地図参照)

<対象>：学校支援活動を実施している方・学校支援活動に興味関心のある方・学校教職員

第1部

各校区の活動事例発表

大池小学校区
学校支援コーディネーター

武内 俊幸 さん
民野 美紀 さん

東泉丘小学校区
学校支援コーディネーター

清水 高子 さん

第2部

情報交換会

自由なテーマで情報交換

- 学校と地域のより良い活動作りのための工夫について
- ボランティア募集の工夫についてなど

【お申し込み・お問い合わせ】

- ・参加費：無料
- ・申込方法：電話、メールまたは申込フォーム(右のQRコード読み込み)
- ・申込期限：12月19日(金)正午まで
- ・定員：80名程度(定員に達し次第×切)
- ・担当：豊中市教育委員会事務局 学び育ち支援課 企画係
電話 06-6858-2576 mail chiikikyo@city.toyonaka.osaka.jp



裏面もあります(詳細など)

(1) 大池小学校学校地域連携ステーション 事例発表

大池小学校区では、PTA や公民分館、社協、おやじの会などの多くの団体や学校と連携し様々な活動が行われています。コロナ禍には「大池万博」の仕組みを作り上げました（※ 今年度から学校主体で実施）。

今年度からは子ども防災リーダー育成のための「大池インパルス」を発足しました。仲間が増える秘訣は「様々な方との出会いを大切に」「子どもファースト」「無理のない活動」です。



(2) 東泉丘小学校学校地域連携ステーション 事例発表

5, 6年前に、学校から「家庭科のミシン授業のサポートをしてほしい」という依頼があり、活動を開始しました。子どもたちに「何かを作ることの喜び・楽しさ」を知ってほしいと感じたことが活動の原点です。卒業生の保護者や地域の方々に声をかけながら活動を続け、今年度は多くの在校生保護者も加わってくれました。できあがったエプロンやリュックを嬉しそうに身につけている子どもたちをみると本当にやりがいを感じます。



(3) 情報交換会

当日は、4~6人グループで情報交換を行います。学校支援コーディネーター同士で、日頃の悩みや、気になることを気軽にお話ししませんか？ほかの校区の取組みからヒントが見つかるかもしれません。



参加者の感想（令和6年度）

- 他の校区の学校支援コーディネーターの具体的な活動を知ることができ、自分たちのところに持ち帰る事ができた。
- 学校の様々な立場の方のお話が聞けて楽しかった。
- コーディネーターの役割、望ましいあり方について、理解を深めることができた。
- コロナ以降、学校と地域の積み上げてきたつながりがくずれてしまいました。今日の研修でその大切さを再認識しました。



〔会場のご案内〕

地域共生センター(旧福社会館) 3階 大会議室
〒561-0881 豊中市中桜塚 2-28-8
阪急バス「豊中市役所前」下車 南西へ 300m
阪急電鉄宝塚線「岡町駅」下車 東へ 300m

